

第1回進路ガイダンス

全日制普通科2年生

6月27日の5限目、普通科2年生を対象に進路ガイダンスを行った。

1年生で「どんな職業の種類があるのか」「その職業の中身について」を学習して来た。その上で今回は、更に進めて「最終的にその職業に就くためにどんなルートがあるのか」を良く理解し、早めに準備を始めてもらうことを目的として、大学・専門学校に來校いただき、それぞれが希望する分野毎(四大・短大・専門・就職)に分かれて、約40分程の話を聞いた。

盲導犬や介助犬の育成をしたいと考えている生徒は、「5年に1人の採用しかなく、狭き門」であることを聞き、複雑な表情になっていた。また、調理と動物関係の両者を考えている生徒は、「前は動物関係の話聞いたので、今回は調理の話の聞きに來た」と。それぞれが自分の考えた講座を受講したことで、いっ



に無く真剣な姿勢であった。生徒の感想をいくつか紹介する。「大学に入れば資格が取れると思っていたが、自分のやり方次第だと分かった」

「スポーツ関係の仕事に就くことが大切であることが分かった」

「自分に合った大学を選ぶために、オープンキャンパスに参加したい」

組み合わせ決まる

全国高校軟式野球大会

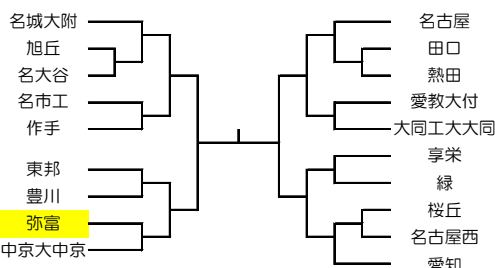
第52回全国高校軟式野球選手権愛知大会(県高野連軟式部、毎日新聞社など後援)の組み合わせが決まった。

16日と21日、22日、26〜28日までの6日間、口論議運動公園と、津島市民球場、知多市宮野球場で、19チームがトーナメント戦で争う。優勝校は県代表として東海大会に出場する。

毎日新聞

30日に行われた抽選会に参加した新屋君が、シード校の京大中京を引き当て、22日11時30分から口論議運動公園で行われることとなった。

全国高校軟式野球大会



SCHOOL STUDENTS EDUCATION



柔道

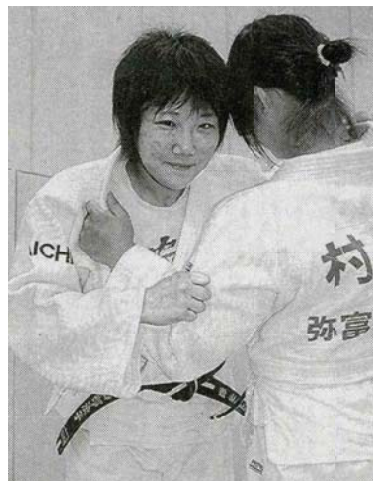
西部 法子 さん(17)

愛知県弥富高3年

東海高校総体の柔道女子個人52kg級で連覇を果たした。それでも悔やむのは全国高校総体への出場権を争った5月の愛知県大会での敗北。決勝で押さえ込まれ、まさかの一本負け。「全国制覇を目指していただに、負けた瞬間涙があふれました」

父親の影響で中学入学と同時に柔道を始めた。「道場で投げている人を見てかっこいいと思った。何か自分に合う感じがしました」と競技との出会いを語る。中学校では柔道部に入ると同時に、豊橋市の自宅近くの道場入門。強くなりたい一心で練習を重ね、中3の春には県大会3位となるまで実力を付けた。

「高校で実力を伸ばす選手が多い」と評判を聞き、弥富高校を選んだ。1年生の時、2つ上



「一本!」がうれしい

中日新聞 7月2日
中高生WEEKLY
に掲載される

の先輩の全国制覇を目の当たりにして以来、「日本一」が目標だ。昨年の全国総体では初出場ながらベスト16に進んだ。

柔道の醍醐味(だいごみ)は技が決まった瞬間。「『一本!』と言われた瞬間が最高にうれしい。頑張ってたかっと思ふ」と笑顔を見せる。夢の「日本一」を追い求め、大学進学後も柔道を続ける予定だ。

中高生WEEKLY